

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

|        |                              |
|--------|------------------------------|
| 団体名    | 特定非営利活動法人パルシック               |
| 活動タイトル | マレーシア・ペナンでのマングローブ林を育む里海の保全活動 |
| 活動地域   | マレーシア・ペナン州                   |



地元のユースクラブ（青年会）のメンバーとマングローブの植樹（2023年5月）



日本の大学生がマングローブ植林を体験（2023年8月）



日本人とマレーシア人の大学生が調査・協力して、マングローブ林の意義を、地域住民に向けて発表（2023年9月）

### 【団体概要】

1973年、「アジアの人々と対等平等な関係をつくる」ことを目標にアジア太平洋資料センターを設立。教材用ビデオを制作し、自由学校を設立してアジアと世界の現実を伝えるための教育活動を行ってきた。2008年にパルシックに名称変更し、アジアの8か国で活動中。マレーシアでは植林や交流、教育活動を実施。

### 【活動の目的・目標】

1. 地元住民が地域の環境保全活動とその意義について学び、環境保全活動に積極的になる。
2. マレーシアの企業の社員や学生が、マングローブ植林活動に参加し、自然環境の保全の意義を学び、環境保全活動を継続していく。
3. 日本の学生や市民がグローバルな気候変動という課題に取り組む活動のひとつであるPIFWAでの植林活動に参加して学び、日本社会でも環境保全活動を実施する。

### 【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

過去数年間は新型コロナウイルスの影響で人の集まりが制限され植林教育センターへの訪問者数が減っていたため、これまでに植林参加した企業などにPIFWAから声をかけるなどして、再び植林活動が活発になるようにした。

### 【活動の内容・成果】

開催回数：12回

参加人数：270人

達成率：100%

- ・2023年4月～9月までに、マングローブの植林と環境保全について学ぶワークショップを12回実施し、270人の社会人、学生が参加した（日本の学生も33人含まれる）。
- ・その他、マレーシア政府主催の環境保全に関する会議に出席し、PIFWAの取り組みを共有した。
- ・2023年9月にPIFWAを訪問した日本の学生は、植林体験後にマレーシアの学生と環境問題など複数のテーマで議論を重ね、グループ発表を行った。一つのグループはマングローブの意義と保全のためにできる活動について地元住民（漁民グループやその家族、学生を民泊で受け入れた家族など）に向けて発表し、質疑応答を行った。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



ペナンの企業のスタッフがマングローブ植林を実施（2023年6月17日）



隣のペラ州でマングローブ林の近くに暮らすメルボックの女性たちとマングローブの実や葉を使った食品加工についての情報交換、調理の実演などを行った。  
（2023年7月24日）



漁民グループの案内のもと、マングローブ植林体験に向かう日本の大学生  
（2023年9月3日）



日本の大学生がPIFWAの植林教育センターで、マレーシアの大学生と環境保全等についてグループディスカッションをした。  
（2023年9月5日）